

## 第16循環の景気基準日付（景気の山・谷）の確定について

—第16循環の「景気の山」を平成30年5月、「景気の谷」を令和2年5月に確定—

### 1 景気基準日付の設定

県では、景気循環の局面判断や各循環における経済活動の比較等の材料として、主要経済指標の中心的な転換点である景気基準日付（景気の山、谷）を設定しており、第16循環の景気基準日付については、景気の山を平成30年5月、景気の谷を令和2年5月と暫定設定していました。

このたび、令和5年2月2日に開催した福井県景気動向指数検討会（※）における議論を踏まえ、第16循環の景気基準日付については、暫定設定と同様、景気の山を平成30年5月、景気の谷を令和2年5月と確定することとしました。

これにより、第16循環の期間は92か月となり、過去最長となりました。

（※） 福井県景気動向指数検討会は、景気基準日付の設定等について産学官の専門的立場からの意見を求め検証していただくことを目的として開催しています。

#### 【景気基準日付】

景気循環	谷	山	谷	期 間		
				拡張	後退	全循環
第8循環	S50年 1月	S51年11月	S52年10月	22か月	11か月	33か月
第9循環	52年10月	55年 2月	57年10月	28か月	32か月	60か月
第10循環	57年10月	60年 1月	62年 1月	27か月	24か月	51か月
第11循環	62年 1月	H3年 5月	H6年 3月	52か月	34か月	86か月
第12循環	H6年 3月	9年 6月	10年11月	39か月	17か月	56か月
第13循環	10年11月	12年 6月	14年 1月	19か月	19か月	38か月
第14循環	14年 1月	18年10月	21年 4月	57か月	30か月	87か月
第15循環	21年 4月	23年11月	24年 9月	31か月	10か月	41か月
第16循環	24年 9月	30年5月	R2年 5月	68か月	24か月	92か月

### 2 設定方法

景気動向指数（一致系列）に採用している7の個別指標について、統計的手法を用いて個々の指標ごとに山谷を設定し、山から谷にいたる期間（景気後退期）はすべてマイナス、谷から山にいたる期間（景気拡張期）はすべてプラスとして、プラスの系列の割合を求めたヒストリカル DI を作成します。

ヒストリカル DI が50%を下回る直前の月を景気の山の候補、50%を上回る直前の月を景気の谷の候補とし、他の主要経済指標の動きや専門家の意見を勘案し、福井県景気動向指数検討会で検討を行った上で、景気基準日付を設定します。